

様式4

令和6年1月26日

豊田市長 太田 稔彦 様

若林地域会議
会長 前田 忠雄

答 申 書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問を受けたことについて、下記のとおり答申します。

記

1 諮問内容

第9次豊田市総合計画に掲げる本市のまちづくりの方向性である「（仮称）ミライ構想」のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造について

2 答申内容

別紙のとおり答申します。

「若林地域について」

若林地域は、豊田市南部に位置し4つの自治区で構成され、行事も盛んな活気のある地域です。区画整理事業、名鉄三河線高架化・複線化、都市計画道路整備事業など、今後、生活環境が大きく変化していく地域でもあります。

令和2年3月に策定した若林まちづくりビジョンでは、理想の姿として①安心して暮らせるまち、②元気に暮らせるまち、③みんなが暮らしたくなるまちの3つのポイントを定めています。また、令和4年度から若林地域の課題を地域会議として議論する中で①住民同士の関係の希薄化、②地域行事・活動の参加者の固定化及び減少、③地域の防災組織体制の不安、④防災意識（自助・共助）の低下、⑤自治区間の防災意識の差の5つが挙がりました。

こうした背景・課題等を踏まえ、令和5年6月に『「多世代交流」×「防災」による機会づくり』について市へ提言しました。

「答申内容」

若林地域会議では、「第9次豊田市総合計画の（仮称）ミライ構想」及び想定される課題を基に、若林地域のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造について、グループワークを中心に協議を行いました。主な意見については以下のとおりです。

1 若林地域のめざす姿について

- ◎子育て世代が暮らしたいと思うまち
- 多世代で支え合えるまち
 - ・文化及び伝統を継承しながら常に成長していくまち

2 若林地域のまちづくりの基本的な考え方について

◎若林地域は子育て世代が減少傾向にあり、多世代交流が徐々に困難になっていくことが想定されるため、子育て世代にとって魅力があり、暮らしたいと思うまちづくりを推進する。

3 若林地帯の都市構造について

(1) 生活

◎子育て世代が利用できる子育て支援センターを設置し、キッズスペースを充実させるとともに、子育てに悩み、困っている人が気軽に育児相談できる環境を整備する。また待機児童をゼロにする。

◎安全安心なまちづくりのため、駅前周辺の主要道路に防犯カメラを増設する。

◎歩車分離を明確にした道路整備を実施するとともに、子どもが安心して学校に通えるよう、通学路の安全を確保する。

○子育て世代が子どもの成長に合わせて部屋をアレンジできる市営住宅を増やしてほしい。

○若林駅付近に全天候型のイベント広場を建設し、地域と学校がタイアップしてイベントを実施する。また、災害時には避難場所として活用する。

・名鉄高架化事業に伴い、区画整理を進める中で駅前に商業用地を確保するとともに、高架下の有効活用として市営の駐車場を設置し、駅を中心とした経済の活性化を図る。

(2) 産業

・地域の企業及び飲食店が連携し、地域限定商品を作り、手土産等で活用し、地域を盛り上げる。

・若林駅から若林八幡宮までを縁日通りとし、お店を出店しやすい環境を整備し、子どもから大人までの人の賑わいを作り出す。

(3) 移動

○名鉄高架化事業に伴い、前林地帯を中心に運行する高岡ふれあいバスのバス停を、若林地帯に増設し、地域内の公共交通の利便性を図る。

○若林地帯を中心にライドシェア事業を推進する。

- ・若林地域限定のバスやタクシーを運行する。また、ラッピングやネーミングライツを導入して、民間事業者の支援を受けて継続して運行できるようにする。
- ・若林駅から名古屋駅までの直通バスの運行や、名鉄三河線の複線化を早期に実現し、名古屋まで乗り換えなしに通うことのできる「住んでみたいまち」(ベッドタウン)としての位置づけを確立する。
- ・名鉄三河線の複線化を早期に実現するための働きかけをする。

(4) 自然・防災

- 逢妻男川を有効活用し、子どもたちが遊びながら自然の怖さや防災の大切さ等を学べるイベントを開催する。
- ・吉原町、若林地域、竹下自治区のビオトープをつなぐ遊歩道を整備し、自然への親しみと継続的な健康づくりの機会を増やす。

4 その他の意見

- 若林地域の歴史と伝統をおさめた映像を作成し、SNSやYouTubeを活用し、幅広く発信するとともに地域の文化を次世代へと繋いでいく。
- 若林駅前にインスタ映えスポットを作り、周辺地域から若者を呼ぶ。
- 名鉄高架下を安価に貸与し、駅周辺の活性化を図る。
- 地域行事がある際、学校との共同事業とし、こどもの参加を促し、楽しむことで郷土愛を育む。
- ・若林地域独自の地域貢献者を表彰するセレモニーを開催する。
- ・中学生の部活動指導を外部の経験者等に有償で依頼し、学校・教員の負担を軽減するとともに、質の高い活動環境を整備する。
- ・豊田市南部を副都心化する。